

## 宝塚市まちづくり協議会代表者交流会（令和元年度・第4回）議事概要

日 時 令和元年9月11日（水）14：00～16：00

場 所 市役所3階 3-3会議室

出席者 仁川まちづくり協議会 綿 昭人会長  
宝塚市良元地区まちづくり協議会 中 義昭会長  
宝塚市光明地域まちづくり協議会 田村 幸雄会長  
宝塚市末成小学校地域まちづくり協議会 加藤 富三会長  
宝塚市西山まちづくり協議会（代理）大崎 裕子副会長  
まちづくり協議会コミュニティ末広 豊田 茂男代表  
宝塚第一小学校区まちづくり協議会 中谷 修会長  
逆瀬台小学校区まちづくり協議会 石谷 清明会長  
宝塚市すみれガ丘小学校区まちづくり協議会 川上 操代表  
宝塚小学校区まちづくり協議会 喜多 毅会長  
売布小学校区まちづくり協議会（代理）笹田 光治副会長（会長代行）  
小浜小学校区まちづくり協議会 藤本 真砂子会長  
宝塚市美座地域まちづくり協議会 梅村 諭代表  
安倉地区まちづくり協議会 岡本 康夫会長  
宝塚市長尾地区まちづくり協議会 久保田 久男会長  
中山台コミュニティ 畑中 康治会長  
宝塚市山本山手地区まちづくり協議会 恵川 竜幸代表  
宝塚市長尾台小学校区まちづくり協議会 松原 孝彦会長  
宝塚市西谷地区まちづくり協議会 二井 久和会長  
市民交流部 古家部長、上田室長、新城課長  
市民協働推進課 吉岡課長、山田係長 他  
施設マネジメント課 橋本課長 他  
学校教育部 学校教育室 羽田室長  
社会福祉協議会 荻野氏 他  
関西総合研究所 宮本氏 他  
OM環境計画研究所 大森氏 他  
宝塚NPOセンター 馬越氏  
傍聴 11人

### 議事概要（要旨）

- 1 宝塚市まちづくり協議会代表者交流会（令和元年度・第3回）議事概要の確認  
各まちづくり協議会代表者により、宝塚市まちづくり協議会代表者交流会（令和元年度・第3回）議事概要の確認が行われ、修正意見があり、修正後のホームページへの公開が承認された。
- 2 地域ごとのまちづくり計画の見直しについて
  - (1)統一フォーマットで作成した地域ごとのまちづくり計画（令和元年8月時点）の情報共有について  
各まちづくり協議会の統一フォーマットで作成した地域ごとのまちづくり計画（令和元年度8月時点）を配布し、情報共有を行った。
  - (2)各まちづくり協議会代表者から、(1)の計画書も参考にいただきながら、地域ごと

のまちづくり計画の見直しに関する取組状況・今後の予定、良かったこと、困っていることなどについて、ご報告いただいた。  
概要については、以下のとおり。

**【すみれ】**

- ア 計画の骨子はできた段階であると認識している。今後は細部を検討した上で肉付けし、11月には最終案としてコミュニティ全体で協議を行う予定。
- イ まちづくり計画見直しの取組を通じ、今までの活動と今後の計画の位置付けが明確になり、これまでもたくさんのことを行っていたという認識を持たた。

**【美座】**

- ア 今後は、ネットワーク会議等の集まる機会で再確認し、足りない部分を追加するなどしてまとめていく。特に、美座においては、水災害の可能性が高いため、安心安全を重点とし、十分な対策が取れる計画にしていきたいと考えている。12月末までにはきちんとしたものにまとめていく。

**【一小】**

- ア 8/21、9/21の2回に分けて、計画の検討を実施した。
- イ まちづくり協議会の役員会と評議委員会に中間報告をしている。

**【小浜】**

- ア 大堀川による浸水被害対策を考える必要がある。
- イ 人権問題については幅が広く、なかなかまとまらないが、皆が避けて通れないと自覚している。もう少しまとめていきたい。

**【仁川】**

- ア 9/4時点で6つの基本目標にまとめている。最終的には、もう一度全員で取りまとめ、色々な話し合いができるようにしていく。

**【安倉】**

- ア 9/6に役員会にて大まかなことを確認した。まちづくり計画については、アンケートを踏まえて作成しているが、改めて確認していきたい。

**【売布】**

- ア 青少年、環境の分野についてはまだ弱い部分があるため、9/12の役員会で集中的に協議する。
- イ 売布はメインとなる課題が定まっていない状況である。

**【中山台】**

- ア 中山台は造成50周年のため、「インフラ整備」の項目を新たに追加した。
- イ 詳細は12月までにまとめ、3月までに文書にする予定。

**【山本山手】**

- ア 基本目標が完成した。防災、住環境、防犯、交通、健康・福祉・交流、青少年の6つの分野に分けて計画を作っている。
- イ 今後は、具体的な取り組みの内容を精査していく。住民から要望が多いのは交通問題であり、他のコミュニティと調整が必要なことも出てくる。

**【西谷】**

- ア 5月の総会において中間報告を行った。
- イ 本日出している計画はほとんど最終形に近い。見直しを依頼している部分もあるが、特に問題はないという声が多い。
- ウ 地域の問題点として、人口減少が挙げられる。また、人口減少による小中学校の存続、交通問題などが課題。

**【末広】**

- ア 色々な方々にアンケートを実施した。民間の事業者の方から、「協力できるところは協力する」旨の意見をいただいている。
- イ 現状行っている取組はすべてよいという意見であったため、現状行っていることは計画に入れつつ、新しい取組で力のかかる単発の取組なども入っている。

#### 【ゆずり葉】

- ア 平成 15 年にまちづくり計画策定後、ことあるごとに見直しを行ってきた。
- イ まちづくり協議会の主な団体に対し、6 月にアンケートを実施し、その結果を 7 月にまとめ、8 月に選抜チームで、今のまちづくり計画の中にかに盛り込むかという話し合いを行った。
- ウ 環境が良いがゆえに引っ越さない人が多く、高齢化率が上がっている。老老介護や担い手、空き家などの問題がのしかかっている。ソフト面をいかに充実させるかを考えていく必要がある。

#### 【ひばり】

- ア 具体的なところはまだできておらず、できる限りの範囲でまとめている。
- イ きずきの森の隣に、宝塚太陽光発電所というものができる。このことについて、環境面として頭に置きながらまちづくり計画を作らないといけないと考えている。

#### 【光明】

- ア 当初、具体的な取り組みは 100 個くらいあった。
- イ ここ 2 か月の検討委員会は人数を 3, 4 人程度増やして実施した。4 つの分科会ごとに分かれて行ったが、色々な意見が出たようで、本来は行政が取り組むべきことであるのに市民が取り組むとなっている、また、市民が取り組むべきことなのに行政が取り組むとなっているなどという意見もあった。いったんはそのまま計画に載せているが、今後検討が必要。

#### 【すえなり】

- ア 現状と課題について多岐に渡って書いている。今回の計画の具体的な取り組みを基に前回の計画に記載されていた現状と課題をブラッシュアップして考えた。
- イ 今後は 12 月の常任評議会で最終案を提示し、承認されたものを地域の皆さんにお知らせする。3 月まで地域におけるパブリックコメントのような形で実施していく。

#### 【西山】

- ア 6/23 に第 8 回の計画策定委員会を行い、本日共有している計画を作成した。まだ不完全なものなので、現在再度作り直している。9/22 の第 9 回計画策定委員会で全体像を示して話し合いをする予定。その後、西山地区創造会議、ネットワーク会議などを経て、最終的にまとめていきたい。
- イ 計画策定を通じて、色々な活動をされている方の情報が共有できている、また、西山地域の状況を把握できてきていると感じている。
- ウ 困っている点としては、委員への参加が限定されていること、若い人の参加が少ないことが挙げられる。

#### 【良元】

- ア 良元地区は 3 つの顔がある。一つ目は、平林寺や宝塚神社、小林聖心女子学院に代表されるような歴史と文化のまち。二つ目は、小林駅前の飲み屋街も含めた下町情緒あふれる人情味豊かなまち。三つ目は、がけ崩れの危険性がある特別警戒区域に指定された箇所があるということ。この点は次の世代にも重要なことであるため、今のうちから防災対策を行っていく。これら 3 つの顔をいかに次の世代に伝えるかについて苦慮している。

#### 【宝小】

- ア 約 1 年あまり、ワークショップで意見を出し合い、その意見をまとめて中間報告としての計画を本日共有している。
- イ 今後は、事業者の考えを収集しようと考えている。その後は、一般の住民の方に、まちづくり計画の策定などの我々が行っている活動についての理解をいただき、また、ご意見をいただきたいと思っている。この点について、他のまちづくり協議会で何か方策を取られている方などがあれば教えていただきたい。

#### 【長尾】

- ア 9/11 の会議にて、「はじめに」、「現状と課題」、「地域の将来像」を詰めていく。
- イ 10 月の長尾のまちづくり協議会の広報誌に掲載し、皆さんの意見をうかがう予定。

ウ 園芸産業を今後どのように生かしていくかを考える必要がある。

(3)意見交換

- ア 連携が必要な取組については、次回の情報共有会議で進めていくことになると思う。
- イ 長尾台小学校はレッドゾーンに入っているが、市はどうするのか。体育館はレッドゾーンに入ってしまった。市が指定している避難所がレッドゾーンに入っている状況だが、そのような場所に避難しろということなのか。改良のための工事について県にも相談しているが、まだできない。総合防災課にも相談しているが市は予算がないと言っている。
- ウ 擁壁の費用については、現在の宝塚市においては9割が県、市が1割を支払う形、他市は市の代わりに市民が1割出す形となっていると聞いている。重要度や危険度を基に擁壁設置の順番が決まっているとのことだが、順番待ちの間に何か起こったらどうするのか。
- エ 美座では、美座小学校が指定避難所にならず、宝塚小学校と小浜小学校となっている。しかし、様々な事情で宝塚小学校や小浜小学校まで避難することができない方々もいる。そこで、マンションやビルのオーナーに事前に協力をあおぎ、共用部分を一時避難所として使用することを考えている。指定避難所にこだわる必要もないのではないかと考えている。
- オ 末広では、4つのマンションと協定を結んだ。
- カ 県が新たにレッドゾーンを指定したということ踏まえ、今の議論の内容に関する見直ししているまちづくり計画に入っているかについて見ておく必要がある。
- キ (市) レッドゾーンに指定された地区について予算がないことを理由に、対策をしないということではない。土地所有がどこかによって対策工事をどうするかが変わってくる。長尾台小学校については、法面も市の所有となっている。その点については市が責任を持って対応する。どういう工事をするかについて検討している。急ぐ必要がある旨は認識している。
- ク 川面地区自主防災会では、一昨年から防災センターの先生の指導を受けている。市が指定している避難所は、住民皆が避難した場合、全員を受け入れることはできない。そこで、防災スイッチ、避難スイッチという考え方で「こういう状態になったら逃げましょう」というのを皆で決めて実施しようとしている。逃げる必要があるのか、避難所はどこにするのかなどをまず住民皆で考えることが基本である。
- ケ 防災については個々の状況によって行うべきことが色々ある。
- コ 隣近所のまちづくり協議会との議論が今後は必要になってくると思う。継続して議論していきたい。

3 宝塚市公共施設（建物施設）保有量最適化方針について（施設マネジメント課）

施設マネジメント課から、配布資料に基づき、宝塚市公共施設（建物施設）保有量最適化方針について説明があった。

出た意見は以下のとおり。

【意見概要】

- ①対策として「建物を解体」などと書かれているが、これは決定事項なのか。例えば、中山五月台小学校が解体することは決定なのか。  
→市：市の考え方を現在示している状況である。
- ②建物の有効活用も含めて検討しており、どうするかという結論はまだ出てない状況であると思う。通学している方がこれを見たらショックを受けることとなる。  
→市：資料の内容は、基本的な考え方となっている。今後、最終的な方針は、教育委員会等所管課から話が出る。  
→座長：施設マネジメント課を通じて担当課とも連携してもらい、地域への説明会をしていただけたらと思う。
- ③既存施設を削減していく方向になっているが、必要なところは増やすという方向性も検討されているのか。

④前向きに「まちづくりをしよう」となっている時に、削減のことだけを検討されるのは厳しい。

→市：基本的には、市が持っている公共施設の維持管理費を考えると、保有したままサービスを提供していくことには課題がある。一方、状況が変わっていく中で、サービスの提供もその時に応じたサービスを提供していく必要がある。

⑤（別で）説明の時間を作ってほしい。

#### 4 宝塚市コミュニティ・スクールについて（学校教育課）

学校教育課から、配布資料に基づき、宝塚市コミュニティ・スクールについて説明があった。

出た意見は以下のとおり。

##### 【意見概要】

①まちづくり計画にコミュニティ・スクールを入れることも考えないといけない。

各学校長の考えはどうなっているか。

→市：宝塚型のコミュニティ・スクールとなっており、市の要綱に沿った形で作っていくということで納得いただいている。

②要綱に「学校長の求めに応じ」とある。学校長によって方針が変わるのか。

③学校長の考え方によって方針は変わると思う。保守的な人もいる。学校の言うとおりにしてもらえたらと言う人もいる。ここは変えてもらった方がよいのではないか。

→市：検討させていただく。

④教育委員会としての最低限の方針を出してもらえたら、学校長の方針によって変わってくるということはないと思う。

⑤会長・副会長の選出とあるが、コミュニティの皆さんがその役割を担っているか。

→市：学校によってまちまちであり、各運営協議会によって異なる。

#### 5 令和元年度まちづくり協議会会計担当者会議事概要について（市民協働推進課）

市民協働推進課から、令和元年度まちづくり協議会会計担当者会議の議事概要について報告があった。

出た意見は以下のとおり。

##### 【意見概要】

①世帯割は公平に見えるが、提案型の事業に対して補助を行うシステムを考える必要がある。基準額＋提案型（加点主義）の出し方も必要だと思う。

②世帯数が多い地域は、上限を区切られてしまうと、一人当たりの額が非常に少なくなる。

→市：まち協補助金のほかにもきずなづくり推進事業補助金などもあるため、そちらも活用していただけたらと考えている。

#### 6 赤い羽根共同募金運動へのご協力のお願いについて（社会福祉協議会）

社会福祉協議会から、配布資料に基づき、赤い羽根共同募金運動へのご協力のお願いについて説明があった。

#### 7 市民協働推進課からのお知らせ

下記(1)～(8)について、資料を用いるなどして周知があった。

##### (1) まちづくり協議会推薦委員について

宝塚市協働のまちづくり促進委員会 宝塚小学校区まちづくり協議会

宝塚市自立支援協議会 仁川まちづくり協議会

##### (2) FM宝塚出演予定

令和元年9月12日（木） 宝塚市すみれガ丘小学校区まちづくり協議会

令和元年10月10日（木） 宝塚第一小学校区まちづくり協議会

令和元年10月15日（火） 売布小学校区まちづくり協議会

- (3) (仮称)宝塚市協働のまちづくり推進条例について
- (4) 第 22 回市民と市長のテーブルトークについて
- (5) 市民活動促進支援事業について
- (6) 宝塚市協働の指針市民説明会「地域活動における男女共同参画を学ぼう」について
- (7) 防災研修会 in 宝塚について
- (8) 令和 2 年度一般コミュニティ助成事業の募集について (ご案内)

8 その他

9 今後の日程

次回日時：令和元年（2019 年）11 月 13 日（水）14：00～16：00

場 所：未定